



ふれあい支え合い助け合

いきいきネット通信

発行者 東海小・中学校区
小域福祉ネットワーク
会長 苅米 榮次
編集責任者 広報部長 庄司 宏

「今 想う事」

会長 苅米 榮次

記録的な厳しい暑さもようやく和らいできました。東海・海上地区民の皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと思います。

子どもたちに関して、明るい話題を二つ報告させていただきます。

一つは、市内の小・中学校の教室にエアコンが設置されることです。来年の夏には涼しい環境下で子どもたちが勉学に励めるようになるでしょう。これを契機に夏季休業のあり方等も検討が進むことを期待します。

二つ目は、ランドセルの軽減化です。文科省がいわゆる「置き勉」も認める方向で学校に改善を図るよう通知したとのこと。重いランドセルは、特に低学年生にとって健康に悪影響を及ぼす場合もあるそうです。東海・海上地区は通学距離が長い子どもたちも

多いので、登下校時の負担が少しでも減るよう、早急な対応を望みます。今後もこういった「子どもファースト」を実践していければと思います。

他方、高齢者に目を向けますと、医療・年金・保健・介護等の制度整備が進

んできてはおりますが、長寿化の進行により私たち個々の悩みや問題は多様化しております。皆様がより幸福に暮らせるよう、小域福祉ネットワークは、同じ地区民として日常生活における多様な福祉課題を共有し、一つでも解決できるようなシステム作りや活動の場となれればと想います。



平成30年度定期総会報告について

総務部長 藤田 茂

本年度の「東海小・中学校区小域福祉ネットワーク」の総会が「いきいきセンター東海・海上」にて、平成30年5月20日（日）午後3時から開催されました。当日は総会に先駆けての理事会、総会終了後にはいきいきセンター運営協議会総会も実施されるなど、ハードな1日でした。

総会では、地元の市議会議員をはじめ多くのご来賓の皆様方のご臨席のもと、東海地区・海上地区の各町会長をはじめ関係諸団体の構成員80名中59名（委任状を含む）の参列をいただき、執行部から提案された以下の6議案が審議され、全て原案通り承認されました。

- 第1号議案 平成29年度事業報告について
- 第2号議案 平成29年度収支決算報告について
- 第3号議案 平成29年度監査報告について
- 第4号議案 平成30年度役員（案）の承認について
- 第5号議案 平成30年度活動方針及び活動計画（案）の議決について
- 第6号議案 平成30年度収支予算（案）の議決について

議決された活動計画は以下の通りです。

- (1) 広報紙（いきいきネット通信、瓦版）の発行（総務局）
- (2) 高齢者への見守り支援体制の推進（高齢者部会）

- (3)子どもの健全育成の推進（青少年部会）
- (4)防犯・交通安全対策の推進（環境部会）
- (5)地域防災対策の推進（防犯部会）
- (6)運営協議会との連携強化
- (7)安心生活見守り支援運営委員会事業の推進（見守

- り支援委員会)
- (8)避難所運営委員会事業の推進（避難所運営委員会）

平成29年度収支決算報告を以下に記します。

平成29年度 収支決算報告（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

収入金額	674,565	円
支出金額	383,990	円
差引残額	290,575	円
次年度繰越金	290,575	円

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1 前年度繰越金	90,564	90,564	0	
2 助成金	472,000	584,000	112,000	
(1)市原市助成金	200,000	272,000	72,000	
(2)市原市社会福祉協議会	0	40,000	40,000	
(3)五井地区社会福祉協議会	90,000	90,000	0	
(4)東海地区町会長会助成金	159,000	159,000	0	
(5)海上地区町会長会助成金	23,000	23,000	0	
3 雑収入	0	1	1	利息
収入合計	562,564	674,565	112,001	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1 運営費	5,000	0	△ 5,000	会議費
2 事務費	96,000	27,171	△ 68,829	
(1)消耗品費	80,000	27,171	△ 52,829	事務用消耗品他
(2)通信費	10,000	0	△ 10,000	
(3)交際費	6,000	0	△ 6,000	
3 事業費	205,000	174,819	△ 30,181	
(1)広報活動費	20,000	14,301	△ 5,699	広報紙印刷用紙代他
(2)青少年部会活動費	5,000	1,240	△ 3,760	葉書代
(3)高齢者部会活動費	30,000	0	△ 30,000	
(4)環境部会活動費	30,000	0	△ 30,000	
(5)防災部会活動費	30,000	29,278	△ 722	自主防災組織連絡協援助
(6)地域福祉増進費	90,000	130,000	40,000	茶話会、輪投げ、歴史講座他
4 センター運営費	182,000	182,000	0	
5 研修費	30,000	0	△ 30,000	
支出計	518,000	383,990	△ 134,010	
6 予備費	44,564	290,575	246,011	
支出合計	562,564	674,565	112,001	

通いの場とは

高齢者部会長 鵜田 信行

市原市は平成29年まで敬老会事業を展開して参りましたが、30年以降は「通いの場」事業へと移行致しました。

敬老会は実施日を限定し行う事業でありましたが、①該当者が施設に入所している、②一人で会場に行けない、③当日体調不良等の理由で参加できないとの意見が多数寄せられ、検討を重ねて参りました。

これらの方々が何時でも気軽に行動・参加できる事業を模索した結果、「通いの場」を策定致しました。

この「通いの場」は、高齢者の方々が日常的に住まわれている地域で地域の方々とふれあえる場とし、地域住民が活動主体となって、地域にある集会所などを活用して、体操などの軽運動やお茶を飲みながらの歓談、趣味活動など様々な活動を行うこととしています。

1. 実施体制

(1) 月1回の「通いの場」・・・3年目以降は週1回に移行

- ・平成30・31年度の2年間、市内11地区で試行的に毎月1回程度の頻度で実施する。

- ・市原市は市原社協に対して事業費補助金を交付する。これを受けた地区社協マニュアルを基に実施の支援を行う。

- ・受付窓口は地区社協（当地区は五井）

(2) 週1回の「通いの場」

- ・平成30年度から、介護保険事業として、週1回実施する。

（平成32年度以降は、介護保険事業に一本化する）

- ・受付窓口は、保健福祉部高齢者支援課

2. 補助金

基本額（運営費・備品購入費・諸経費）

50,000円 交付の基本となる額

立上支援額（初年度のみ）

100,000円 立上初年度のみ交付

会場額

100,000円 会場の賃貸料

*補助金の余りが出た場合、年度末報告時に返却する

以上が主な内容であります。

因みに、東海地区では2団体で週1回の「通いの場」が登録されています。

青少年部会の活動について

青少年部会長 森田 浩道

青少年部会は、子どもの健全育成の推進を活動方針としています。具体的には、子どもたちの登下校時の見守り声掛け、全校生徒との工作教室・一年生とお正月遊びや昔の遊びをして交流を図ります。

毎日歩く通学路には、交通量の多い道路や交差点、歩道が無く見通しの悪い危険な場所が多々あります。見守り声掛けの時、私たちが『おはよう』と声掛けすると、子どもたちの元気な『おはようございます』という挨拶が返ってきます。疲れている時・落ち込んだ

り悩んだりしている時に、子どもたちの元気な声を聞くところからも元気になります。子どもたちにも多くの人達が見守ってくれているという安心感を与えたいものです。

今年の夏は酷暑であり、夏休みに予定していた工作教室は子どもたちの体調等を考慮して中止となりました。お正月遊びへの参加をお願いします。

各家庭の宝であり地域の宝である子どもたちが、安全・安心して学校生活を送れるよう、通学路の除草・登下校時の見守り等地域の皆様の御協力をお願い致します。

ブロック塀等の安全確保について

防災部会長 山越 照太郎

震災では倒壊したブロック塀等の下敷きとなり、多くの方が犠牲になっています。1978年の宮城県沖地震では、死者28名のうち18名がブロック塀等の倒壊が原因でした。それ以降の地震においてもブロック塀等の倒壊が発生し、近々の大阪北部地震でも児童が犠牲になりました。

これまで地震による倒壊の危険があるブロック塀等が放置されてきましたが、大阪北部地震を契機に自治体所有のブロック塀等の緊急点検が進んでいます。

しかし、危険なブロック塀等は個人所有のものが圧倒的に多く、危険なブロック塀等を減らすには、所有者自らが点検を行い、その結果不適合なものを改修・補強することが必要です。

市原市では点検用のリーフレットを用意すると共に、ブロック塀等の改修や生け垣への建て替えに助成制度を設けて安全対策に取り組んでいます。しかし、残念ながらあまり活用されず、ブロック塀等の安全確保は進んでいないのが現状です。

倒壊した塀等は人の犠牲だけではなく、道路も塞ぎ、避難や救助・消火活動を妨げますので、助成制度を活用し早急な安全確保に努めて下さい。

ブリザードフラワー作り教室に参加して

金川原町会 小出 史子

7月23日(月)に行われたブリザードフラワー作り教室に参加しました。講師は若くて素敵な今関真理先生とアシスタントの須田利江さんです。当日は希望者21名が参加しました。

お花作りが始まると、ブリザードフラワーの作り方の分からない初心者ばかりでしたので、すぐにあちこちから「先生」「先生」と声が飛び交い、先生からは何度も「今行きますよ」とお声をいただき、にぎやかな教室になりました。お花はピンク、黄色、白、紫

等、様々なバラの生花を貝殻に飾り付けました。先生の丁寧なご指導のおかげで、出来上がりはまるでウェディングケーキの飾りのよう！皆さん自身が作った素敵なブリザードフラワーを愛しそうに胸に抱いて記念写真を撮りました。

お陰様でとても楽しいひと時を過ごさせて頂きました。本当にありがとうございます。いきいきセンターの役員の皆様に御礼と感謝を申し上げますと共に、次回開催を心待ちにしております。



市原市総合防災訓練（五井地区会場－東海小学校）

塚原町会 秋元浩巳

平成30年9月2日（日）市原市総合防災訓練が行われました。会場となった東海小学校体育館には、10町会119人の地区民の方々が参集し、地震や水害が各地で発生したこともあり、防災に対して関心の高さが感じられました。

午前9時、防災行政無線による放送により、震度6強の地震が発生したことが伝えられました。それを受けて各町会にて身の安全を確保するための自己点検を行い、その後集団で避難を開始しました。その際に避難経路の危険箇所の確認も同時に行いました。

避難先である東海小学校において、

1 シェイクアウト訓練

地震発生時の安全行動

DROP!(まず低く!)

COVER!(頭を守り!)

HOLD ON!(動かない!)

2 毛布による負傷者の搬送訓練

3 三角巾での止血法

4 AEDの使用方法

など、消防団員の指導のもと実際に体験し理解を深めることができました。

参加者の積極的な質問から参加者の防災意識の高さも見られました。

また当日以下の資料が配布されました。

1 チェックリスト「備え10項目」

2 シェイクアウト訓練

3 家庭でできる応急手当

4 予防救急

これらによって訓練の内容を再確認し、災害に備えることが大切です。

訓練終了後、非常時に役立つ「アルファ米」と「備蓄水」が配られました。

今回の訓練を通して、私たちは日頃から防災の意識を持ち、対策をすることがいかに大切であるかを学びました。個々人や家族、地域住民の取組みとして、防災訓練の重要性を確認できた一日でした。



いきいき広場の活動状況について
 運営協議会会長 秋葉 茂樹

地区民の皆様、平素よりいきいきセンター東海・海上「いきいき広場」の事業活動にご支援・ご協力頂き、感謝申し上げます。

今年の夏は日本中が猛暑となり、また相次いで上陸した台風は各地に甚大な被害をもたらしました。そして、9月6日には北海道で『震度7』の大地震が起き、この先どのような災害が起きるのか不安な方も多いことでしょう。町会の皆様も今一度災害に対する危機管理の心構えを持つよう考えなければいけない時期に来ていると感じます。

さて、今年度事業も始まり、去る7月23日（月）にブリザーブドフラワー作り教室を開催しました。参加頂いた小出さんに感想を寄稿して頂きました（4ページ）。

また、9月26日（水）に地区対抗輪投げ大会を実施し、白熱した戦いが繰り広げられました。

今後は、10月に「高齢者交通安全教室」、12月に「ふる里の歴史講座」、来年の2月には「物づくり教室」を予定しております。是非多くの皆様の参加をお待ちしております。

平成29年度いきいきセンター東海・海上 運営協議会収支決算報告				
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)				
		収入金額	185,402円	
		支出金額	185,402円	
		差引残高	0円	
収入の部		(単位：円)		
科目	予算額	決算額	増減	備考
助成金	182,000	182,000	0	各町会からの助成金
使用料	3,000	3,400	400	いきいき広場使用料
雑収入	0	2	2	預金利子 ²
合計	185,000	185,402	402	
支出の部				
科目	予算額	決算額	増減	備考
光熱費	120,000	104,090	△15,910	電気料金（3月～2月）分
会議費	4,000	3,546	△454	お茶代（園庭草刈り等）
備品費	10,000	30,899	20,899	掃除機
消耗品費	36,000	11,119	△24,881	印刷機ドラムユニット代 インクカートリッジ等
環境保全費	15,000	14,300	△700	簡易トイレ汲取料、清掃用品 混合ガンリン
決算残金	0	21,448	21,448	
合計	185,000	185,402	402	
※ 決算残金21,448円は、修繕費積立金に繰入れする				
平成29年度修繕費積立金				(単位：円)
項目	修繕費積立金		備考	
いきいきセンター東海・海上改修費残金	422,115		平成29年3月31日	
平成29年度運営協議会決算残金	21,448		平成30年3月31日	
合計	443,563			

募集：いきいきセンターの花壇整備（植替え、草取り等）のボランティアを募集しております。（年5回程）ご協力頂ける方は下記までご連絡ください。

問合せ先：秋葉茂樹 25-0916